

お客さまへのメッセージ

執行役員 事業部長
重岡 徳史 (第1SI&S事業部)

肝要はコミュニケーションと業務知識！

私は入社2年目に、弊社としては初めての受託システム開発に携わることができました。自分なりに何とか周囲の期待に応えようと、技術面の力不足は、参考文献の理解やシステム解析で補いつつ、コミュニケーション面においては、お客さまとの接し方や関係づくりなど、上司の指導を受けながら、日々研鑽したことを覚えています。



その後約15年間、4つのお客さま先に常駐しながら、数多くのシステム開発を担当させて頂きました。それらシステムは、対象業務や開発環境、開発ツールなどもさまざまに異なり、どれひとつとして同じものはありません。ただその中で、いかなるシステムであっても、共通して必要なものがありました。それは、「お客さまとの円滑なコミュニケーション」と、その基礎となる「業務知識」です。これらは、的確なニーズ把握、課題の共有と最適な解決策の検討、業務を網羅したテスト、業務に支障を与えないシステム切替など、さまざまな工程において、とても重要で不可欠なものであるということを痛感しました。

当事業部ではここ数年来、お客さまとのコミュニケーションをよりよくするための仕組みづくりと合わせ、メンバーがお客さま業務をいろいろな側面から理解することができるよう、適宜ローテーションを行っています。そうすることで、お客さまの悩み事、心配事や課題などについて、正確に把握でき素早くキャッチアップできると考えています。

IT業界では、クラウド、モバイル、ビッグデータなどの新しい考えや技術が日々生まれ、変化し続けており、それに伴って経営や業務上のニーズも、より多様化、高度化しています。

このような状況の中で、お客さまにとって本当に必要とされるソリューション・サービスが何かを的確に見極め、最適な時期に最適な形でご提案・ご提供できるよう、活動品質を高める取組みをこれからも継続してまいります。そして、少しでも多くのお客さまにご満足いただき、お客さまのビジネスの成功に貢献できればと考えています。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

今年も「エコテクノ2014」に出展します！

日時：2014年10月8日～10日

場所：西日本総合展示場新館



ブース展示

ITで
つくって
eco！

3D技術を効果的に取入れ、ものづくりの未来を変革

昨年度、大変ご好評をいただいた

3Dプリンター「Cube®3rd generation」
ハンディ3Dスキャナー「Sense™」

の展示・実演を行います。



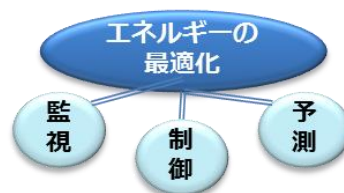
© 2014 by 3D Systems, Inc.

ITに
まかせて
eco！

見える化・最適化で、効率よいエネルギー利用

環境省・国交省実証事業

「港湾地域低炭素化推進事業」への
取組みについて、ご紹介いたします。
(北九州港の先進的取組みについて)

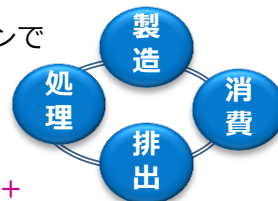


ITで
つないで
eco！

資源と情報を共有して、循環型社会を目指します

製造から産廃処理まで、弊社のソリューションで
限りある資源の有効活用をご支援します。

- ・製造テンプレート「1901」
- ・GreenPlanetPack / GreenPlanetPack+

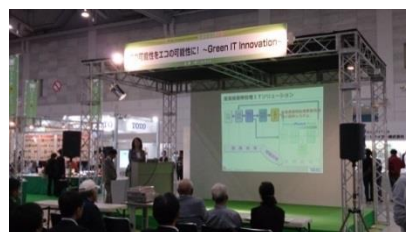


無料セミナー（事前申込）

テーマ：「ITでeco！

つくって～まかせて～つないで」

日時：2014年10月9日（木）11:00～11:30



（昨年のセミナーの様子）

弊社ブースに、ぜひお越しください。お待ちしております！！

よりよい地域社会のために (CSR活動・社会貢献活動)

1. 2014年度インターンシップ

今年6回目となるインターンシップは、過去最高の9名の学生を迎えて実施することとなりました。東北大学（院生）、高専、留学生（中国）など、地域性・年齢ともに幅広く、我々社員に新鮮な風を吹き込んでくれました。

今年度は、私たちの業務をより身近に感じられるよう、カリキュラムを改善し、新たに北九州テクノセンターでの職場体験を加え、成果発表会などでは弊社社員だけでなく、J Bグループの幹部社員とも交流していただきました。

今年も、弊社の取組みをご理解いただき、学生に貴重な体験を提供することに御協力いただきましたお客さま、本当にありがとうございました。

学生みなさんが、社会にいち早く打ち解け、貢献できる社会人になれるよう、弊社でのインターンシップ経験がその一助になることを期待しています。



名刺交換の様子



みんなで記念撮影！
一木さん(JBCCHD)、小野さん(C&CBS)も一緒に

2. 子ども・子育て支援新制度のスタートに向けて

北九州市子ども・子育て会議では、平成27年4月からの新制度に向けた、「次期子どもプラン」の素案を策定しました。昨年度から、事業管理担当（上別府）がこの会議に委員として参加しており、少なからずお役に立てたような気がします。



(左) 厚生労働省発行のパンフレット
(右) できたてホヤホヤの北九州市版パンフレット

その他・トピックス

1. コンプライアンス・セキュリティ教育の実施

J Bグループでは、毎年グループの全社員を対象に、コンプライアンス・セキュリティ教育を実施しています。今回は、セキュリティ情報の取り扱いに関するルールを重点的に再確認しました。私たちの業務の各場面で、学んだことを活かし、確実に実行してまいります。

2. 【9/1防災の日】全市民参加型防災訓練への参加

北九州市では、地震発生などの災害時における行動要領を身につけ、緊急時に強制配信される『緊急速報メール』の周知を目的に、市全域を対象とした防災訓練を実施しました。

この訓練結果を教訓に、日頃から意識を高めておく重要性を認識し、改善してまいります。

(事業管理)



シェイクアウトの訓練風景
「まず低く、頭を守り、動かない」

「見る」から「触る」へ

3Dプリンターの話題は、多くのメディアで報道されており、ご存知の方も多いと思います。簡単に説明すると、「3Dデータを基に各種材料を薄く積層して立体物を造形する機器」です。

3Dプリンターは他の三次元造型機に比べ、造形時の制限が少なく、意図した形状が自由自在に作れます。また、特別な技術が必要とせず、取り扱いが容易です。



© 3D Systems, Inc.

切削や手作業では作成できないものでも3Dプリンターは1度で作ることができます。

製造分野のお客さまに広く活用されており、導入目的として以下が挙げられます。

品質向上

- ・実際に形にできるので、正確なイメージを共有して、より良いデザインを追求できます。
- ・試作品を微調整しながら、繰り返し機能テストが実施できる為、よりお客さまの要求を満たす製品を作ることができます。

製品化のスピードアップ

- ・アイデアをすぐ形にできるので、意思決定がスムーズになり、手戻りが少なくなります。
- ・社内ですべての試作品が作れる為、工期短縮ができます。
(データを外部に出さない為、情報漏洩リスク軽減にもつながります。)

費用削減

- ・設計・製造段階で工期短縮が可能となり、人件費の削減ができます。
- ・試作業務での金型作成費、材料費、作業費等の外部委託費が削減できます。

その他に、医療分野では正確な模型による手術前の予行練習、建築分野では施主へのプレゼンテーション用モデル、教育分野ではCAD教育で設計が正しく行われているかの確認用モデルなどに活用されています。



© 3D Systems, Inc.

3Dプリンターの世界出荷台数は、「2017年に2012年の10倍に達する」との予測もあり、今後のものづくりを大きく変えていくものとして期待されています。また、世界中でさまざまな使い方のアイデアが生まれ、新しいイノベーションを巻き起こしています。

「エコテック2014」展（10/8～10）で、3Dプリンターの展示・実演を行います。

「見る」から「触る」を実現できる3Dプリンターの実力をぜひご体感ください！

（営業部 営業グループ 佐藤 大樹）

チーム力でご期待に応えます！

我々“開発グループ”で携わっている幾つかのプロジェクトの中から、建設業向け基幹業務システムのマイグレーションプロジェクトを担当しているチームについてご紹介します。

【プロジェクトの概要】

- ・ 複数言語で構築された老朽システムを、統一した開発言語・フレームワークへ移行
- ・ 利便性向上、セキュリティ強化、保守運用効率向上への対応
- ・ 品質保証（ビジネスロジックの確実な移行）が最重要課題
- ・ 240人月／20ヶ月規模、2拠点での開発（直営3名、パートナー多数）

このチームは、昨年の11月に発足しました。
その時期は、国内ではIT技術者需要が高く、
技術者不足の状況でした。そんな中、コアパート
ナーの心強いバックアップもあり、我々の一番の
強みである建設業の業務知識を豊富に保有する
メンバーや現行システムの開発・保守経験者、
多様な開発言語スキルを保有するメンバー等、
プロジェクト実行に必要な力量を持った精鋭メンバー



が集結することができました。その結果、品質保証の肝となる「解析ミス・勘違いの防止策」
として弊社オリジナルの「解析ツール」でプログラムを資料化する等、チームとして様々な
施策を実施しながらプロジェクトを推進することが出来ております。

また、男性ばかりで華がないチームとなった事は大きな誤算（笑）でしたが、旧知のメン
バーや年齢層の近い中堅メンバーが集まったおかげで、何でも言いやすい雰囲気が出来ており、
その結果、各自がやりがいを感じられる活気ある職場になっていると感じております。

今後も、お客さまのご期待に応える事が出来るよう、スキル・強みに創意工夫を加えながら、
メンバー全員で元気にプロジェクトを推進して行きたいと思っております。

（開発グループ 熊谷 昌幸）



●メンバー紹介（Myブーム）

熊谷：始めて1年のGOLF。100切り目指して精進中！！

槌本：国鉄時代の車両撮影。宮崎まで行ったりします。

川上：携帯ゲームのパズドラ。課金せずに頑張ってます。

「つながり」から生まれるもの

弊社では、長年にわたってずっとご支援させていただきお客さまが多いためか、プライベートでも、社員がお客さまとご一緒させていただくことがよくあります。その場面は、平日の飲み会から、趣味のマラソン、ソフトボール、ゴルフやツーリングなどの休日のイベントにいたるまで幅広くさまざまです。

そのときの様子を話す社員の顔は、とても活き活きと晴れやかな表情で、お客さまとの時間を本当に楽しく過ごしたことが伝わってきます。



このようなお客さまとのお付き合いで、私にも忘れられない思い出がありました。ちょうど、お仕事でご迷惑をおかけした時期だったので、そのお客さまからお誘いいただいたことに驚いたのですが、「仕事で知り合った人でも、その人がいいなあと思ったら、仕事に関係なくこうして飲みにお誘いするんですよ。」とのあたたかいお言葉をいただき、とても感激しました。

お仕事の成否自体は、さまざまな要因に影響を受けることがあります。しかし、それに携わる私たちひとり一人の熱意や姿勢というものは、何にも左右されることなく、まっすぐにお客さまに伝わるものです。そして、その熱意がお客さまにうまく届いたとき、初めてお客さまから信頼していただくことができ、個人個人の「つながり」が生まれるのだと思いました。

自分を信頼してくれる人、自分の頑張りを見守ってくれている人の存在は、私たちを力強く支えてくれます。こうしたお客さまとの「つながり」こそが、私たちの大きな力となり、自分を磨き、会社を磨いていく原動力や、新たなチャレンジに踏み出す勇気となっているのではないかと考えてなりません。

(Y.Nishino)

編集後記

3Dプリンター。今回、製品紹介をするためにいろいろ情報収集をしたなかで、3D造形は日本人が生み出した技術であるということを知りました。しかも、34年も前に…すごいですよね。

近年の低価格化やスキャナーの小型化、造形サービスなど、3D造形がますます身近なものとなり、最近のDIYブームと相俟って、個人の創作意欲をさらに刺激してくれそうな気がします。(K.K.)